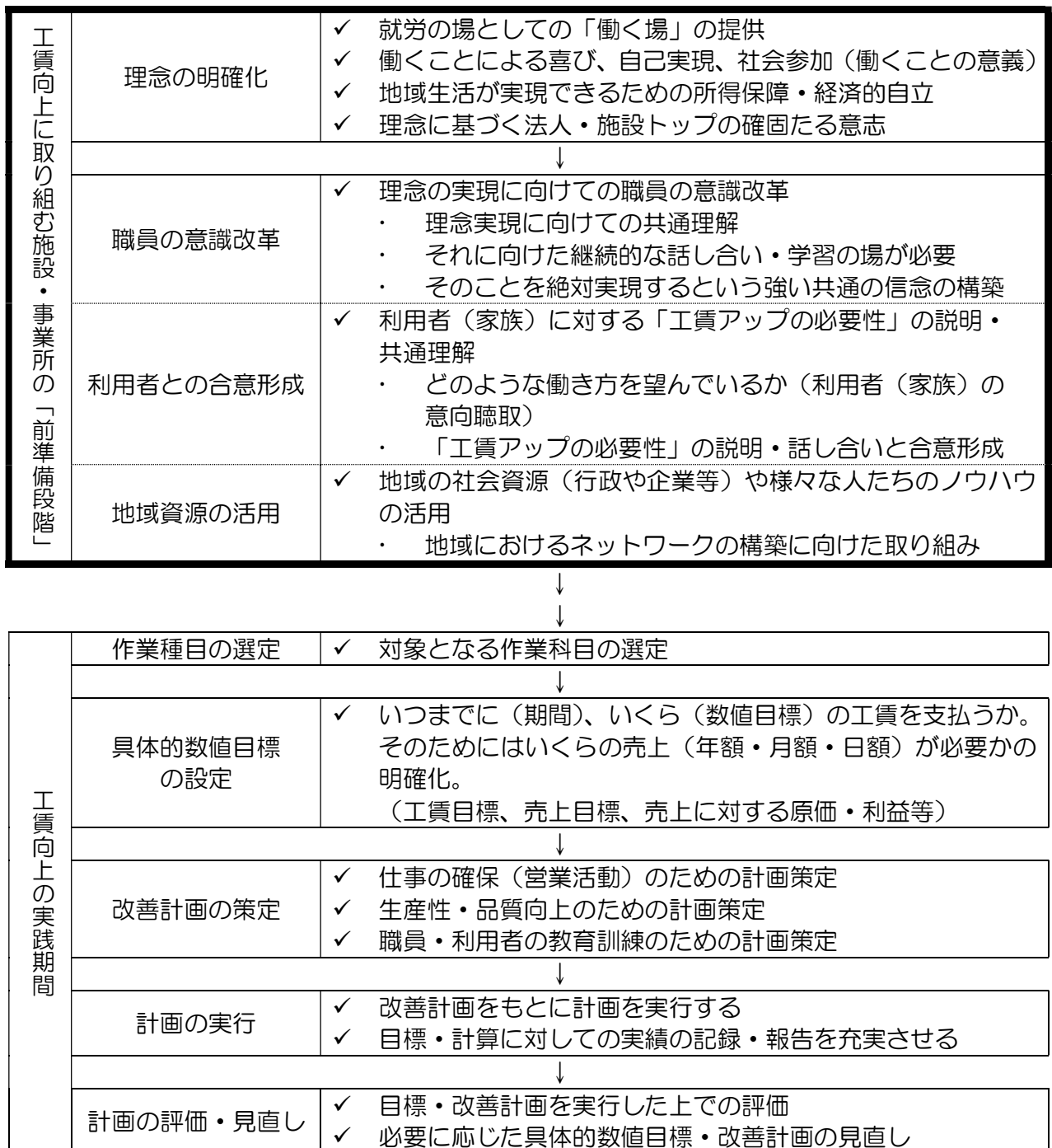


1. はじめに

- 全国社会就労センター協議会（以下、セルフ協）では、これまでも障害者就労支援施設の利用者が地域で自立した生活が送れるように、工賃向上の取り組みを進めてきました。
- その1つが平成 18・19 年度に実施した「工賃水準ステップアップ事業」です。
- 今回の工賃向上支援プロジェクトにお申込みいただくにあたっての参考として、「工賃水準ステップアップ事業」で得られた『工賃向上に向けた「基本的な流れ」』をお示します。

2. 工賃向上に向けた「基本的な流れ」

※ 「工賃水準ステップアップ事業」（平成 18・19 年度）の取り組みより



3. 工賃向上に取り組む施設・事業所の「前準備段階」における重要な点

① 理念の明確化

- ✓ 工賃向上の取り組みは、単に工賃を引き上げることだけにとどまらず、工賃額の上昇の行き着く先に、どのような利用者の生活像を描き、それをどのように支えていくかを見据えていくことが重要です。
- ✓ 施設長や職員、利用者（家族）が一丸となり、“なぜ工賃向上が必要なのか”、“障害のある方の働く場として利用者の経済的自立を支援し、いかに地域生活を実現させていくのか”、理念・目的を共有し、本気で取り組むという意識づくりが最も重要なポイントとなります。

- 法人・施設トップの「工賃向上への取り組み意志」を確認しましょう
- “必ず実現させる”という確固たる意志を持ちましょう

② 職員の意識改革

- ✓ 工賃向上の取り組みを一部の職員だけで進めていくのではなく、全員が一丸となって進めていくことが重要です。

- 理念の実現に向けた職員の意識改革を図りましょう
- できない理由を挙げるのではなく、どうすればできるかを考えましょう

③ 利用者との合意形成

- ✓ 工賃向上の必要性を説明し、その上でどのような働き方を望んでいるのか、複数の選択肢を用意して利用者に決めてもらうプロセスが重要です。

- どのような働き方を望んでいるのか（利用者（家族）の意向聴取）
- 「工賃アップの必要性」の説明、話し合いと合意形成

④ 地域資源の活用

- ✓ 地域のさまざまな人たちのノウハウや地域の社会資源（行政機関や企業、自治会組織など）を十分に活用し、これらの理解を得ながら進めていくことが重要です。

- 地域の社会資源（行政や企業等）やさまざまな人たちのノウハウの活用
- 地域におけるネットワーク構築に向けた取り組み



「前準備段階」を経て、工賃向上の具体的な取り組みを進めていくこととなります。